

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【公開番号】特開2001-215537(P2001-215537A)

【公開日】平成13年8月10日(2001.8.10)

【出願番号】特願2000-22933(P2000-22933)

【国際特許分類】

G 02 F 1/167 (2006.01)

G 03 G 17/00 (2006.01)

G 03 G 15/05 (2006.01)

【F I】

G 02 F 1/167

G 03 G 17/00

G 03 G 15/05 1 1 5

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月31日(2006.7.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定のギャップをあいて対向する、少なくとも一方が光透過性を有する2枚のシートと

、前記2枚のシートの間に形成され、周囲を仕切り壁で囲まれた複数の現像剤収容セルと

、前記各セルに内包された乾式現像剤と、

を有しており、

前記乾式現像剤は、互いに帯電極性の異なる、且つ、互いに光学的反射濃度の異なる少なくとも2種類の、摩擦帯電性を有する乾式現像粒子を含んでおり、

前記複数の現像剤収容セルは蜂の巣状に配列形成されていることを特徴とする可逆性画像表示媒体。

【請求項2】

前記可逆性画像表示媒体の単位面積S_oにおける非画像部の面積S_nの割合S_n/S_oが0.0001以上0.5以下である請求項1記載の可逆性画像表示媒体。

【請求項3】

任意の一つの現像剤収容セル又は順次連続する複数の任意の現像剤収容セル群において、前記一つの現像剤収容セル又は前記複数の現像剤収容セル群により提供される画像表示領域の面積がS_aであり、前記一つの現像剤収容セルの外輪郭を形成している前記仕切り壁の中心線で囲まれる面積又は前記複数の現像剤収容セル群の外輪郭を形成している前記仕切り壁の中心線で囲まれる面積がS_bであるとき、前記一つの現像剤収容セル又は前記複数の現像剤収容セル群に関する(1-S_a/S_b)の値が0.0001以上0.5以下である請求項1記載の可逆性画像表示媒体。